

第3回 学校運営協議会



- ・「ひらかれた学校」づくりのために、地域と学校、保護者、生徒が関わり合うことのできる機会を増やしていく取り組みを行う。
- ・現場のニーズを把握し、実現可能な教育支援が実施できるように調整し、不可能だと思われるものの形や方法を変え、できる範囲で実現できるよう熟議を重ねていく

令和6年12月10日(火) 13時30分～15時30分

可美中学校 北館3F CSルーム

※ 学習成果発表会作品鑑賞・授業参観 13:30～13:50 別紙参照

- 1 会長あいさつ
- 2 校長あいさつ
 - (1)文化発表会
 - (2)体育大会
 - (3)シズクリプロジェクト「エンジン」
- 3 議長の選出
- 4 2学期の活動報告
 - (1)前回会議録の確認(池野・資料1)
 - (2)職場体験活動報告(杉本)
 - (3)家庭科学習支援活動報告(石黒・資料2)
 - (4)受験前面接指導について(池野・資料3)
- 5 熟議
 - (1)【全体】
 - ア 今後の部活動の地域移行について(小畑)
 - イ 令和7年度やらまいか講演会 派遣講師について(池野・資料4)
 - ウ 可美中学校いじめ対策基本方針・いじめ対応について(小畑) 別冊
- 6 報告
 - (1)学校運営協議会自己評価の実施と結果等の報告について (中川・資料5)
 - (2)学校の取組に対する評価について・県学力調査結果 (谷野) 別紙資料6
※(1)(2)については、回答後、12月17日(火)までに学校へ郵送をお願いします。
 - (3)令和7年度 学校運営協議委員 意向調査について (小畑)
 - (4)第4回学校運営協議会について(2月6日(木)) (中川)
・来年度の学校運営の基本方針と教育課程について
 - (5)学校支援コーディネーターから 研修報告 (岡本・川原・資料7)
- 7 オブザーバーより 可美協働センター所長 土屋様
- 8 教育委員会教育総務課より 牧野様
- 9 アンケート記入



令和6年度 第2回 可美中学校運営協議会 会議録

- 1 開催日時 令和6年9月10日(火) 13時30分から15時40分まで
- 2 場 所 可美中学校 3F CSルーム
- 3 出席委員 小野田和弘 牧野源太郎 小野田康弘 岡本眞理 川原眞美
(敬称略) 見野大輔 中村淳子 中村精志 下田浩伸 山下美和
- 4 欠席委員 なし
- 5 学 校 小畑多佳子(校長) 池野弘昭(教頭) 谷野大樹(教務) 中川将大(CS主任)
杉本直樹(CS担当) 與五沢智宏(3年主任) 石黒竜市(家庭科)
後藤高美(CSディレクター)
- 6 教育委員会 清水 悠(教育総務課グループ長)
- 7 傍 聴 者 土屋明久(可美協働センター長)
- 8 会議録作成者 CSディレクター 後藤高美
- 9 授業参観 13時35分から13時50分まで
第1回運営協議会後のアンケートにて生徒の様子を知りたいとの要望で実施。
- 10 会長挨拶
小野田和弘会長 全委員揃っての会議が久しぶり、本日も本音トークで願います。
- 11 校長あいさつ
・台風の影響も受けず8月30日に始業式ができ、落ち着いたスタートができた。
2学期は行事が多い。学校生活の充実や、いじめへの対応を課題として取り組んでいく。
・生徒への1学期の振り返りアンケート実施、結果報告。
(1) 野外活動 (中川教諭)
5月28日から30日 三ヶ日青年の家にて 活動目標の紹介。生徒の満足感や達成感を感じた。教員の日々の打合せや準備への意識向上につながった。
(2) 修学旅行・修学旅行探究テーマ報告 (與五沢教諭)
5月21日から23日 奈良・京都へ 実行委員11名が中心となり、2年生の10月から行程やルールなど様々な面で主体的に考え、生徒が作った修学旅行だった。
探究テーマ発表は7名が全校発表。
(3) シツクリプロジェクト「エンジン」 (中川教諭)
2年生は7月から5か月間合計25時間から30時間を使用し、須山建設・浜松いわた信用金庫・中部電力パワーグリッドの3社と学習を進めていく。生徒は楽しく取り組んでいる。
- 12 議長の選出
第1回運営協議会にて協議済。議長を会長に務めていただくことについて、全員異議なく承認した。
- 13 1学期の活動報告
(1) 前回議事録の確認(池野教頭)
(2) 職場体験について(杉本教諭)
岡本委員 ひまわり学級の先生から別で職場体験先を探して欲しいと依頼を受けた。
一本化できないか。

(3) 家庭科学習支援の詳細について（石黒教諭）

石黒教諭 岡本委員・中村淳子委員の協力で人数の確保できた。支援者が9月24日来校予定。生徒の様子を見学する。

小野田会長 昨年の要望が実現する、今後他の教科支援も増やしていけるように、協力をお願いする。

(4) 受験前面接指導について（池野教頭）

小野田会長 女性の面接官が少ない、増やしていきたいので候補者を紹介してほしい。

14 熟議

①今後の部活動の地域移行について 【全体】（小畑校長）

小畑校長 7月に浜松教育委員会が資料を保護者へ配布。令和8年9月から休日は「地域クラブ活動」へ移行。平日と休日の指導者・指導内容や怪我の対応、教員の異動先にも関わる、十分な協議していく必要がある。意見をもらえたら教えてほしい。

小野田委員 どう母体を作るかが大切になる。周辺地域とも話し合い、方向性を決めないといけないと思う。指導の一貫性をもった方がよいのではないかと。

牧野委員 学校としてどこに目的をもつのか。学校の部活動の概念がみえない。生徒の意識改革も必要。怪我や体罰など相談場所はどうなるのか。

杉本教諭 子供たちのモチベーションを上げるために、勝つ意識も必要。学校と地域クラブのどちらの名前で大会へ出るか選択しないといけない。全部活動の競技が地域クラブチームにない。教員も部活を指導したい方もいる、教員のなりてが減るのではないかと。

谷野教諭 サッカーは令和2年から地域クラブの形はあった。本格的に動いたのは今年度から。日曜日は地域クラブとして活動している。地域クラブの大会もある。部活とクラブの両方を選択している子供やどちらか選択をしている子供がいる。

中川教諭 野球は硬式のリトルリーグと軟式の部活を選択。部活動のよいところは、中学から野球を始める子供も差を感じずに始められるところ。

小野田会長 子供たちはどう思っているのか。教員の兼業は出来るのか。市、中体連、自治会の意見を確認していかないといけないと思う。

②今後の支援活動について 【グループ→全体】（中川教諭）

15時20分から15時30分までABCの3グループに分かれ意見交換。

A グループ 協働センターへ学習支援活動の参加募集の掲示や意見箱をおくなど協力をお願いしてはどうか。

B グループ 各教科の教員から支援の具体的な内容を示していかないといけない。実施する家庭科の様子を広げていくのはどうか。

C グループ 支援者の関わり方、基準的なものを知りたい。求める人材の基準を具体的にしてもらえると斡旋しやすい。

15 報告

・学校支援コーディネーターから（岡本委員・川原委員）

岡本委員 初の学習支援が実施できる、どんな効果があるか期待している。

川原委員 昨年職場体験を行った事業所から好評を頂いて、連絡が取りやすかった。

・第3回学校運営協議会について(中川教諭)

令和7年度 やらまいか講演会

いじめ対策について

16 オブザーバーから

土屋センター長 熟議の内容を可美地区全体で協議していく必要性を感じました。今後も学習支援の協力をしていく。

教育総務課グループ長 清水 悠さん

可美は制度が定着していると感じられた。マネージメントもよい、目標を共有して行っていってほしい。

17 アンケート記入

家庭科の被服実習の支援について

1. 内容

家庭科では2学期にファイルカバーを製作する実習を1年生3クラスで行った。その中で、民生委員、更生保護女性会の方（各授業3～6人）に授業支援していただいた。

2. 成果

①生徒の作業が進んだ

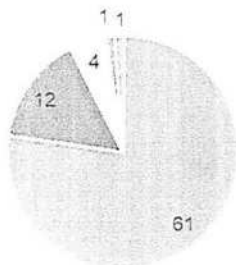
②やれることが増えた

授業では、30人を1度に見なければならぬため、一人では対応しきれないところがあった。常に3～6人の人がいてくださるため生徒の近くに大人がいる状況を作れて、メリハリのある活動ができた。また、作業を一人一人回りながら見てくれるため、個別に指導する余裕が生まれた。また、生徒からの声で、支援の人に教えてもらって玉止めをマスターしたと嬉しそうに言う生徒もいた。教え方もうまく、褒めながら教えてくださり生徒も楽しそうだった。

また、ミシンやアイロンの調整なども対応してくださり、指導に専念することができた。

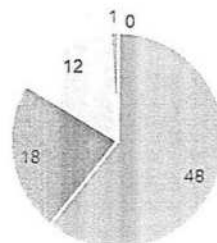
支援の人がいてよかったと思いますか？

- 思う
- どちらかというと思
- どちらでもない
- どちらかというと思
- わない
- 思わない



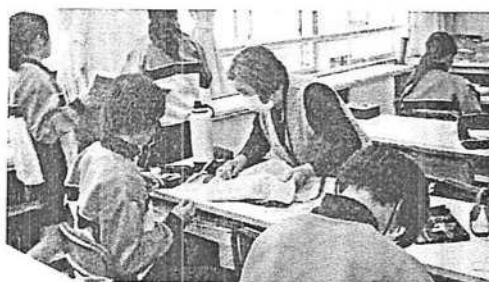
中にも実習をやるとしたら家庭科支援の人がいてくれた
ほうが良いですか？

- してほしい
- どちらかというとい
- どちらでもない
- どちらかというとい
- はない
- いてほしい、ない



3. 課題

- ・生徒自身から声をかける姿が見られず、困っている生徒を探すしかなかった。名前入りの札を付けてもっと声をかけやすい状況を作ればよかったと感じた。
- ・手伝う中で手伝いすぎてしまうこともあったので、どこを教えてほしいか、手伝いのルールのようなものも必要だったかなと感じた。
- ・4階までの移動が大変そうだった。
- ・一人の生徒に1時間つきっきりで指導になってしまうこともあった。グループを分けて、担当エリアを決めるなど、授業の回し方にも課題を感じた。



3年生 受検前面接指導について

1 目的

- ・ 中学卒業時の進路選択の面接練習を想定し、普段接していない大人との練習を通して適度な緊張感の中での受け答えの経験を積む。
- ・ 社会人として実際に活躍している地域の方から、企業や学校などで求められる資質などについてアドバイスをいただき、応答内容の質の向上に生かす。
- ・ 自分を見つめ、将来に向けての自分の課題を見つけ、今後の生活に生かす。

2 実施予定期間

- ① 令和7年1月23日（木）・24日（金）《私立入試に向けて》
- ② 令和7年2月20日（木）・21日（金）《公立入試に向けて》

3 担当人数

1クラスにつき 2人グループ × 4クラス 計8名程度

4 具体的な方法

- (1) 実施時刻 木曜日… 5・6校時 金曜日… 6校時・（放課後）
13:20～15:10 14:20～15:10

(2) 面接方法

- ・ グループ面接（グループ1つの人数は5人程度）
- ・ 1時間(50分)の中で、1回20分程度×2グループ
- ＊面接練習マニュアルと質問内容は学校が用意する

(3) 個人情報保護等に関わること

- ・ 個人情報保護のため、進路先が特定されるような質問は用意しない。
- ・ 普段接していない大人（面接官）との面接を想定し、教員は同席しない。

※その他の詳細が記入された文書は、12月中に各面接官に送付予定です。

令和6年度 受検前面接指導

< 1回目 > 令和7年1月23日(木)・24日(金)

< 2回目 > 令和7年2月20日(木)・21日(金)

令和6年度

可美中学校3年生 面接練習 面接官

	お名前(敬称略)	居住地	1月23日 (木)	1月24日 (金)	2月20日 (木)	2月21日 (金)	令和5年度
1	竹山喜章	高塚町南	○	○	○	○	○
2	杉本真弓	東若林町	○	○	○	○	○
3	山口元一	東若林町	○	○	○	○	○
4	大石快子	増楽町	○	○ ^(R)	○	○	○
5	大畑尉智子	増楽町	○	○	○	○	○
6	中村精志	高塚町	○	○	○	○	○
7	小野田和弘	高塚町南	○	○ ^(R)	○	○	○
8	鈴木逸郎	東若林町	○	○	○	○	○
補充	三浦宏之	増楽町	補充				○(補充)
	高柳邦彦	若林町北	補充				○(補充)
	竹内良昭	若林町北	補充				○(補充)
	瀧本育枝	若林町	補充				○
	内山和博	若林町	補充				○
辞退	望月昭宏	東若林町	辞退				○

令和6年度 新候補者

	お名前	居住地	推薦者
1			
2			
3			
4			
5			

2023.2.2

令和6年度 やらまいか講演会

【講師】 鈴木 敏弘 氏 (元テレビ静岡アナウンサー 通称「空じい」)

【目的】

アナウンサーとして活躍された経験を通して得た「生き方や考え方」、また「可美中生へのメッセージ」などについての講話を通して、生徒の自己決定・自己実現を支える「望ましい職業観」を育成するとともに、「夢」に向かって努力しようとする心情をはぐくむ。

【講演テーマ】

出会いを大切にジタバタ生きよう

【日時】

17日(金)

令和7年1月18日(金)午後1時20分～午後2時35分

【日程】

13:00 ごろ 来校予定

13:12 生徒移動開始

13:20 講演スタート (講演:50～60分、発声・しゃべり方指導10分)

14:20 質問タイム

14:30 お礼の言葉 (年 組)

14:35 終了

※教室で感想用紙を記入

【準備】

・ホワイトボード ・マイク

【その他】

- ・6時間目途中までの講演となります。残り時間で、感想の記入をお願いしますが、その後の時間は学年対応をお願いします。
- ・朝礼隊形です。発声指導があるので、イスなしで床に座るようにしたいと思います。
- ・CS 委員、保護者へさくら連絡網で聴講のお知らせを配付します。
- ・地域の方へ回覧板でチラシを配布します。

ステージ

2年	3年	1年	ひまわり

CS、保護者、地域の方用椅子
50脚程度

資料4

学校運営協議会自己評価実施要項

浜松市教育委員会

1 趣旨

この要項は、浜松市学校運営協議会規則（令和元年 浜松市教育委員会規則第2号）第8条に規定する学校運営協議会（以下「協議会」という。）の自己評価の実施について必要な事項を定める。

2 評価の目的

各協議会が、自らの取組について、その取組内容や達成状況等について自己評価し、改善につなげることにより、保護者、地域住民等の対象学校の運営への参加を促進し、当該運営の改善及び児童生徒の教育活動の充実を図る。

3 評価の実施

協議会は、以下の評価項目について自ら評価を行う。

<評価項目>

（必須） ※全ての協議会で行う。

- 1 学校運営の基本方針について熟議することができたか。
- 2 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。
- 3 協議会の結果について、十分な情報発信を行ったか。
- 4 今年度の評価を踏まえた来年度の目標

（参考） ※各協議会で追加する項目があれば設定する。

4 自己評価の結果の報告書の作成

協議会は、自己評価結果を様式1により、簡潔にとりまとめる。

5 評価結果の公表

協議会は、自己評価の結果について、CS便りや学校のホームページ等を活用し、広く保護者や地域住民等に公表するよう努める。

6 評価結果の報告と改善支援

(1) 教育委員会への報告

協議会は、様式1を当該年度末の指定する日までに教育委員会へ提出する。

(2) 教育委員会による改善支援

ア 様式1の活用

様式1は教育委員会教育総務課が集約し、各協議会の運営状況について把握するための資料とする。

イ 評価結果等に基づく改善支援

教育委員会は、評価結果等に基づき、各協議会の取組の改善が図られるよう、必要な助言又は指導を行う。

附 則

この実施要項は、令和2年9月1日から施行する。

この実施要項は、令和5年4月1日から施行する。

令和6年度 学校運営協議会自己評価表

委員名（ ）

＜本年度の目標＞

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

＜評価項目4＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

令和6年12月5日

令和6年度第2回学校支援コーディネーター研修会報告書

可美中学校支援コーディネーター：岡本真理

- 日時 令和6年10月16日（水）13:30～16:00
＜8月28日（水）開催予定が台風のため変更となった＞
- 会場 浜松市教育会館
- 内容
- （1）行政説明
 - ① これまでの研修内容の共有
 - ② 支援内容を具体化する
 - （2）グループ協議
 - 「地域と連携・協働した教育課程の実現に向けて＜自校の取組＞」
 - これまでの実践の目的や価値を確認する
 - ＜お互いの実践から＞今後必要なアクションを見出していく
- 感想
- （1）行政説明を聞き、改めて今までの活動（モデル校1年～現在）を思い返すことができた。また他のコーディネーターたちと研修内容の共有ができたと感じた。
可美中学校運営協議会での話し合いを受け、コーディネーターが学校と地域をつなげ、協働して、今のところ具体化できていると思った。
 - （2）コーディネーター4人（小・中学校）が協議した。
自己紹介を兼ねて、それぞれのコーディネーターが取り組んでいる活動内容を述べ、実践内容等の確認ができた。小学校と中学校、地域、コーディネーター経験年数等により違いはあっても、目指しているところは同じと感じた。
新たな課題を改善するため、どのようなことを工夫していったらいいのか等は、残念ながら具体的なアイデアを（時間の関係で）だすことはできなかった。
- ※コーディネーターの情報交換ができて、とても良い研修会だった。
お互いの活動を知り、受け止めることで、今後の活動に生かせると思った。

R 6 全国学力・学習状況調査（可美中3年）

● 教科に関する調査結果より

※数字は平均正答率

【国語について】

	可美中	静岡県（公立）	全国（公立）
国語	63	59	58.1

- ・国語は静岡県・全国の平均正答率を上回った。
- ・無解答率は低く、苦手な問題でもしっかりと問題に向き合い、答えようとする姿勢が見られた。評価項目の中に、学習指導要領の内容である各項目についても平均正答率は全て上回り6割～8割の正答率である
- ・「読むこと」については、正答率が半分を超えていたが、他の項目よりも数値は低かった。「読むこと」の力が弱い場合、文章の内容の理解が浅くなる、論理的な思考力が育ちにくくなる、表現力への影響、他教科への波及などが考えられる。

【数学について】

	可美中	静岡県（公立）	全国（公立）
数学	55	55	52.5

- ・数学の平均正答率は全国を上回り、静岡県とは同等の結果であった。
- ・細かく見ていくと「データの活用」の部分で正答率が下がっており、今回の結果を経て、生徒にはこの領域の学習の支援をしていきたい。
- ・問題形式の正答率からの考察では、選択式（4択など）が上回り、短答式（計算問題や方程式など）が下回っていることを見て取ることができる。選択肢の中から答えを選び出すことはできるが、自ら答えを導き出すことに苦手意識を持っていることが考えられる。一方、記述式は静岡県、全国の正答率を上回っている。このことから、記述式で求められる思考力は持っていると考えられるので、ドリル学習などを通して、短答式で求められる知識・技能を高めていくことができれば、全体的な学力の向上を図ることができるのではないかと考えられる。

資料6

● 質問紙より

【学習に関する質問】

学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）						
	3 時間以上	2～3 時間	1～2 時間	30 分～1 時間	30 分以下	全くしない
可美中	5.0	19.8	36.4	29.8	9.1	0.0
静岡県	8.3	24.9	34.2	18.8	9.4	4.1
全国	9.2	22.5	32.6	18.4	10.4	6.6

土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）						
	3 時間以上	2～3 時間	1～2 時間	30 分～1 時間	30 分以下	全くしない
可美中	3.3	9.9	28.9	38.0	19.0	0.8
静岡県	4.8	9.9	21.9	28.3	24.4	10.1
全国	5.7	9.8	20.7	26.8	23.1	13.1

1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか				
	当てはまる	やや当てはまる	やや当てはまらない	当てはまらない
可美中	24.0	56.2	17.4	2.5
静岡県	27.1	54.1	16.4	2.1
全国	27.2	53.1	16.7	2.6

- ・平日の学習時間が少ない傾向にある。しかし、土日については静岡県・全国を時間では上回っている、但し時間がある土日でも1～2時間程度である。
- ・「授業の中で、課題を解決するために自ら考え課題に向き合い主体的に取り組むことができる生徒」は少ない傾向にある。

1、2年生のときの学習の中で PC・タブレットなどの ICT 機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。（1）自分のペースで理解しながら学習を進めることができる				
	当てはまる	やや当てはまる	やや当てはまらない	当てはまらない
可美中	40.5 ←92.6%→ 52.1		6.6	0.8
静岡県	27.8	54.1	15.1	2.5
全国	28.7	51.5	16.0	3.3

- ・ICT機器を活用することについて全国、静岡県の平均回答を大幅に上回っていた。
- ・しかし、別の調査の内容では、ICT機器やタブレットの活用について、効果的な活用の仕方がまだ不十分であるというデータも出ている。ICTの本当に効果的な活用方法については、教員が研修を積み授業に生かしていく必要がある。

★資料には載せていない項目

「毎日朝食を食べますか」・・・95.9%

「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」・・・80.2%

「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」・・・93.4%

- ・生活習慣については朝食をしっかりと食べ、起床就寝時刻がほぼ同じであり、生活リズムが整っている。

【規範意識・自尊感情に関する質問】

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか				
	当てはまる	やや当てはまる	やや当てはまらない	当てはまらない
可美中	71.9	24.8	3.3	0.0
静岡県	76.0	20.1	2.8	0.7
全国	77.5	18.2	2.9	0.9

- ・ 97%の生徒はいじめは絶対にダメだと思っているが、「やや当てはまらない」の回答があったことは残念である。

人が困っているときは、進んで助けていますか				
	当てはまる	やや当てはまる	やや当てはまらない	当てはまらない
可美中	33.1 ←87%→ 54.5		11.6	0.8
静岡県	38.2 ←91%→ 53.1		7.3	0.9
全国	38.3 ←90%→ 51.8		8.3	1.2

- ・ 進んで人を助けられる人は約9割弱の生徒であったが、「やや当てはまらない」生徒も全国・静岡県の値を上回り、残念な結果であった。

将来の夢や目標を持っていますか				
	当てはまる	やや当てはまる	やや当てはまらない	当てはまらない
可美中	36.4	28.1	26.4	9.1
静岡県	35.9	31.0	21.3	11.4
全国	36.1	30.2	20.6	12.6

- ・ 将来の夢について、明確に持っている生徒は全国や静岡県の値に比べて多いが、やや当てはまらないとなっている生徒が約4分の1いる。全国や静岡県の値から考えると低い傾向である。

自分には、よいところがあると思いますか				
	当てはまる	やや当てはまる	やや当てはまらない	当てはまらない
可美中	35.5 ←78.5%→ 43.0		18.2	3.3
静岡県	42.3	42.3	11.2	4.1
全国	40.4	42.9	11.8	4.7

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか				
	当てはまる	やや当てはまる	やや当てはまらない	当てはまらない
可美中	37.2 ←90.9%→ 53.7		6.6	2.5
静岡県	45.1	46.2	6.5	2.0
全国	44.2	46.2	7.0	2.3

- ・ 上の2つの質問について、先生たちは良いところを褒めているが、生徒自身の中では良いところがないと思ってしまう。

★資料には載せていない項目

- ・ 「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」については、95.8%の生徒が前向きな回答をしていた。
- ・ 「学校に行くのは楽しいと思いますか」について、80%の生徒が前向きに回答していたが、15%の生徒はやや当てはまらないと回答していた。

R6学校アンケート（学校運営協議会委員様用） お名前()

以下の各項目について、そう思うか(適合度)をお答えください。合っているものに○を付けてください。

	そう 思う	だいた いそう 思う	あまり そう思 わない	そう思 わない	答えられ ない
1 教職員や地域の大人は、子どもの成長をほめることを意識している。					
2 教職員や地域の大人は「命の大切さ」や「きまりを守ることの大切さ」を教えている。					
3 体育大会や文化発表会などの学校行事は盛り上がり、子どもたちの成長につながった。					
4 子どもたちは、元気な明るい声であいさつをし、活気にあふれている。					
5 部活動は、練習内容や計画に無理がなく充実している。					
6 学校は、たより等で情報をよく発信している。					
7 子どもたちは、地域の行事に積極的に参加している。					
8 学校は、子どもたちの安全確保や健康管理に気を配っている。					
9 教職員は、保護者や地域の方・来客に節度ある態度で接し、連携を大切にしている。					
○日頃の子どもの様子を見てお気付きの点や学校に関わることで気になる点についてご意見をください。					

令和6年12月5日

令和6年度第2回学校支援コーディネーター研修会報告書

可美中学校支援コーディネーター：岡本真理

- 日時 令和6年10月16日（水）13:30～16:00
＜8月28日（水）開催予定が台風のため変更となった＞
- 会場 浜松市教育会館
- 内容
- （1）行政説明
 - ① これまでの研修内容の共有
 - ② 支援内容を具体化する
 - （2）グループ協議
 - 「地域と連携・協働した教育課程の実現に向けて＜自校の取組＞」
 - これまでの実践の目的や価値を確認する
 - ＜お互いの実践から＞今後必要なアクションを見出していく
- 感想
- （1）行政説明を聞き、改めて今までの活動（モデル校1年～現在）を思い返すことができた。また他のコーディネーターたちと研修内容の共有ができたと感じた。
可美中学校運営協議会での話し合いを受け、コーディネーターが学校と地域をつなげ、協働して、今のところ具体化できていると思った。
 - （2）コーディネーター4人（小・中学校）が協議した。
自己紹介を兼ねて、それぞれのコーディネーターが取り組んでいる活動内容を述べ、実践内容等の確認ができた。小学校と中学校、地域、コーディネーター経験年数等により違いはあっても、目指しているところは同じと感じた。
新たな課題を改善するため、どのようなことを工夫していったらよいのか等は、残念ながら具体的なアイデアを（時間の関係で）出すことはできなかった。
- ※コーディネーターの情報交換ができて、とても良い研修会だった。
お互いの活動を知り、受け止めることで、今後の活動に生かせると思った。